

氏名 (法人にあっては名称)	株式会社ホープ
住所	福岡市中央区薬院1-14-5 MG薬院ビル

自社等発電所(*1) の有無	無		
電気事業の概要	<p>【供給実施体制】</p> <p>■電源 調達方法： 一般電気事業者及びJEPX（一般社団法人 日本卸電力取引所）から調達。 JEPXからの調達は下記需給管理委託契約先が行う。 送電方法： 一般電気事業者と託送契約を結び送電する。</p> <p>【供給実施体制】</p> <p>■電力需給管理委託契約先 会社名： 株式会社エナリス 所在地： 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-5-1 御茶ノ水ファーストビル 14F 代表者： 代表取締役社長 小林 昌宏</p>		
電気の供給における 温室効果ガスの排出 の状況	年度	実二酸化炭素排出量	把握率
	前年度実績（2020年度）	245,024 (千t-CO ₂)	100.00 (%)
電気の供給における 温室効果ガスの排出 の量の抑制に関する 措置の実施状況	年度	実排出係数(*2)	調整後排出係数(*3)
	前年度目標（2020年度）	0.568 (kg-CO ₂ /kWh)	0.390 (kg-CO ₂ /kWh)
	前年度実績（2020年度）	0.524 (kg-CO ₂ /kWh)	0.378 (kg-CO ₂ /kWh)
	(措置の実施状況)		
J-クレジット制度の排出削減プロジェクトに基づき発行されるクレジット（ERL）を利用。			

*1 自社等発電所とは、自己が所有する発電所及び経営支配下においている子会社が所有する発電所をいう。
 *2 実排出係数とは、市内への電気の供給に伴う二酸化炭素排出量（実二酸化炭素排出量）を市内への電気の供給量（電気供給量）で除したものをいう。
 *3 調整後排出係数とは、実二酸化炭素排出量から償却前移転した京都メカニズムクレジット等を控除したものを、電気供給量で除したものをいう。

電気の供給における再生可能エネルギーの利用の拡大に関する措置の実施状況	自社等発電所における再生可能エネルギーによる発電量の割合の拡大に関する措置の実施状況		
	年 度	再生可能エネルギー発電量(*4)	再生可能エネルギー導入率(*5)
	前年度目標 (2020年度)	0 (kWh)	0.00 (%)
	前年度実績 (2020年度)	0 (kWh)	0.00 (%)
	(措置の実施状況)		
調達分を含む再生可能エネルギーの環境価値の確保量の割合の拡大に関する措置の実施状況	なし		
	年 度	環境価値の確保量(*6)	環境価値の確保率(*7)
	前年度目標 (2020年度)	0 (kWh)	0.00 (%)
	前年度実績 (2020年度)	0 (kWh)	0.00 (%)
	(措置の実施状況)		
なし			
電気の供給における未利用エネルギー(*8)による発電量の割合の拡大に関する措置の実施状況	なし		
火力発電所における熱効率の向上を図るための措置の実施状況	なし		
本市の区域内に存する電気の需用者に対する地球温暖化の防止に資する取組の実施状況	弊社では希望する需要家様に対し、専用のマイページを発行。専用のID・パスワードを利用してログインすると、請求情報・電力使用情報等(月別・日別・30分値)が確認できる。使用電力量のアラート設定も可能。		
その他の地球温暖化の防止に貢献する取組の実施状況	なし		

*4 再生可能エネルギー発電量とは、自社等発電所における再生可能エネルギー(太陽光、風力その他非化石エネルギーのうち、エネルギーとして永続的に使用することができるもの)による発電量のうち市内分をいう。
 *5 再生可能エネルギー導入率とは、上記の発電量を自社等発電所における発電量のうち市内分で除したものをいう。
 *6 環境価値の確保量とは、自社等発電所における再生可能エネルギーによる発電量、他の一般電気事業者等の発電所における再生可能エネルギーによって発電された電気の購入量及び購入した環境価値の量を合算したもののうち市内分をいう。
 *7 環境価値の確保率とは、上記の確保量を電気の供給量のうち市内分で除したものをいう。
 *8 未利用エネルギーとは、発電に利用するエネルギーのうち、工場の廃熱又は排圧、廃棄物(バイオマスを除く)の燃焼熱、超高压地中送電線からの廃熱、変電所の廃熱及び高炉ガスその他の副生ガス等のエネルギーをいう。